



ヘラクレスの塔

ユネスコの世界遺産
とその伝説

カラメルの塔*



ヘラクレスの塔

これは私たちの塔、私たちのシンボルです。そのシルエットはア・コルーニャの住民の大西洋特有の個性を海洋に映し出しています。地元の遺産であるヘラクレスの塔は2009年よりユネスコの世界遺産にも登録されています。

この唯一無二の塔は現役の灯台としては世界最古のものです。1世紀にローマ人により建築された元来の塔はより幅広く高さもより低く、灯台のための燃料を上まで運ぶためのスロープを備えていました。

1788年エンジニアのエウスタキオ・ジャーニニが、学者のホセ・コルニデのアドバイスを参考にしつつ、大規模な改修工事に着手しました。同プロジェクトではこの歴史的建造物のローマ時代の遺跡を維持しただけでなくそれを際立たせました。ローマ建築の灯台をネオクラシック様式のファサードで覆い、元来あったスロープを思わせる斜め線を施しました。後に、灯火を備えた塔の上部が付け加えられましたが、土台にはラテン語の碑文が刻まれた礎石が残されています。

ア・コルーニャの夕暮れに美しくそびえたつ、ジャーニニの手がけたこの塔を忘れることは決してないでしょう。世界中を旅してもローマ建築の支柱と四角形の土台を備えた灯台は他にはないのですから。

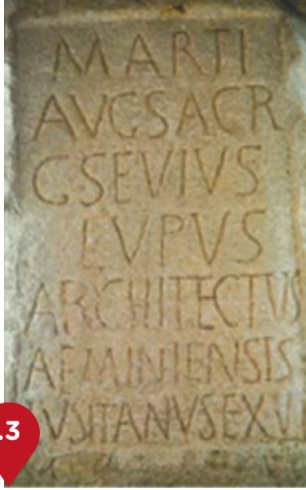
灯台の訪問

1

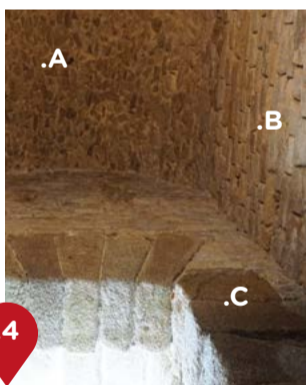
利用案内センター
利用案内センター(CIAV)はヘラクレスの塔のすぐ隣にあります。スタッフが訪問者に対応するレセプションに加えて、CIAVには灯台の歴史的推移、灯台としての役割や戦略的重要性について説明した展示スペースがあります。



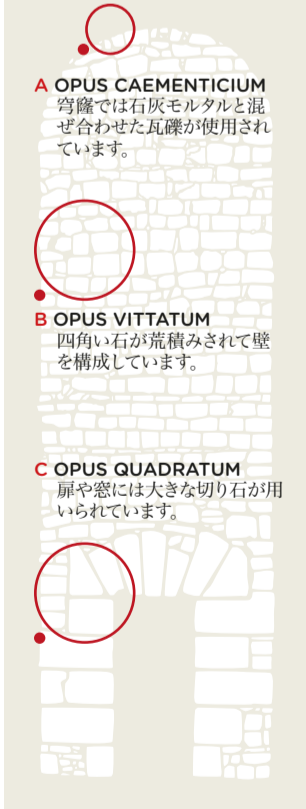
古代遺跡
塔の入り口には当初の建物の土台や灯台の横に建設された建物の遺跡が展示されています。



ラテン語の碑文
塔の土台には建築家の名が刻まれたローマ時代の碑文が残っており14世紀に建てられた小建築物により保護されています



部屋
ローマ建築の内部は3階に分かれており、各階に半円筒天井を備えた4つの部屋があります。すべての部屋において典型的な古代ローマの建築様式を見て取ることができます。



円形の部屋
エウスタキオ・ジャーニニによる設計。古代ローマの土壌を保存するために天井が設置された古代ローマ建築の円形の建物。



灯台の灯室
1804年に建築された灯台の灯室を備えた標識塔。灯室からは20秒ごとに4つの閃光を発しています。



古代の灯室
ヘラクレスの塔の上部の円形の建築物は18世紀、今日「ジャーニニの部屋」として知られる建築物に改修されました。最近の研究によると、ヘラクレスの塔では家庭用の灯油による灯火具と同様の大型の灯火が使用されていた模様です。現在のこの部分はこの塔の発掘品として展示されています。

*ピカソ作

パブロ・ピカソは幼少時代の一時をア・コルーニャで過ごしましたが、この灯台は何度もスケッチしたり描いたりしています。実際彼はこれを「カラメル」の塔と呼んでいました。

...プロフィール:

ガイオ・セビオ・ルポ。ヘラクレスの塔は建てた建築家の名前が知られている唯一のローマ建築の灯台です。彼自身が塔の土台に、マルテヤアウグストなどの神話の神に捧げた祈願の碑文に自身の名を刻むことでその名を残しています。

エウスタキオ・ジャーニニ。18世紀末、同灯台で行われた最も重要な改修工事を手掛けた軍事エンジニア。ジャーニニはまた、当時に相応しい近代的な灯台に様変わりさせた復旧工事の責任者として自身の署名を染料で石に残しています。

イサベル2世。1858年女王の同市訪問を記念してヘラクレスの塔の内部を美しく改築することにしました。その際内壁を補強材によるふかし壁で隠し、表面を模様のついた壁紙や布製で覆い、さらに穹窿部分を隠すために吊天井を設置しました。

ホセ・コルニデ。1792年「Investigaciones sobre la fundación y fábrica de la Torre llamada de Hércules (ヘラクレスと称される塔の設立と建造に関する研究)」を発表したコルーニャ出身の学者。今でもこの塔の研究の鍵を握る著書となっています。

神話

ヘラクレスの神話

ドウエロ峡谷を統治していた「ゲーリュオーン」と呼ばれる巨人は地域全体の住民を脅かしていたそうです。3日間にわたって繰り広げられた闘いの末ヘラクレスは巨人を倒して首を埋葬し、その上に灯台を建てました。そしてすぐ近くに町を築き、この土地の最初の住民であり、彼が恋に落ちた女性の名に因んで「クルニャ」と名付けました。ヘラクレスが去った後、エスパンは決して消えることのない灯火を灯台に設置しました。敵の船が来るのが見えるように大きな鏡も取り付けました。



利用案内センターにおけるヘラクレスの彫刻
フランシスコ・レイロ、1992年

ブレオガンとイス

同地域全体を征服した後、ブレオガン(ア・コルーニャ)の街を築き、塔を建てたと語り継がれています。彼の死後跡を継いだ息子のイスが、この塔の頂から垣間見たアイルランドの征服を目指して同地へと向かいました。結局殺害されてしまった彼の遺体はブリガンティアに戻されて埋葬されました。その使命を引き継いだ息子のミルが再度アイルランド征服に臨み、今度はトゥアハ・デ・ダナーンを倒して同国全体を征服することができました。

トレセンソニオの物語

修道士のトレセンソニオが荒地であったガリシアに旅したと伝えられています。その際、海岸から高い建物 Farum Breantium (灯台)を発見して、それに近づき上りました。鳥を見渡しそこまで航海しました。そこで至福の状態に到達しそれが7年間続きました。その後天使がガリシアに戻るように命じますが彼はそれを拒否します。その結果罰が下って盲目になり身体中が傷で覆われました。彼は神の許しを請い船でガリシアに戻りますが、Farum Breantiumに着くと建物はほぼ取り壊されていました。街には再度人が住みついていました。

詳細に関してはこちら:

www.torredeherculesacoruna.com

www.turismocoruna.com

フォローする:



ヘラクレスの塔
Doutor Vázquez Iglesias, s/n
15002 A Coruña
T +34 981 223 730
torredehercules@coruna.es

塔の見学時間

冬季(10月から5月)
月曜から日曜 10:00 - 17:30
夏季(6月から9月)
月曜から日曜 10:00 - 20:30

利用案内センター営業時間

冬季(10月から5月)
月曜から日曜 10:30 - 17:30
夏季(6月から9月)
月曜から金曜 9:00 - 20:30
土曜、日曜 + 祭日 10:00 - 13:30

利用案内センターにおける入場券の販売

冬季(10月から5月)
月曜から日曜 9:40 - 17:15
夏季(6月から9月)
月曜から日曜 9:40 - 20:15

あ-A CORUÑA

開かれた街 ア・コルーニャ



ヘラクレスの塔-ユネスコの世界遺産に登録-ア・コルーニャ
世界唯一の現役の灯台

灯台の推移



1世紀

予想される立面図



1788

改修前の姿



1788-1790

改修後の現在の姿

ヘラクレスの塔は2008年より自由の女神と姉妹協定を結んでおり、大西洋をはさんで新大陸と旧大陸を結ぶ2つの偉大なシンボルとなっています。また、アメリカ大陸で最古となるハバナ所在のモロ要塞の灯台とも姉妹提携しています。

57メートル

46メートル*

25メートル

ヘラクレスの塔

1世紀 - 1788

234 段

43° 23' 09" N

8° 24' 23" W

Gp Fl(4)W 20s

23マイルに及ぶ

自由の女神

1886

156 段*

40° 41' 21" N

74° 02' 40" W

*台座を含みます

モロ灯台

1845

170 段

23° 09' 01" N

82° 21' 24" W

Fl(2)W 15s

18マイルに及ぶ

